

輝いて明日へ

誰にも優しい
地域社会をつくれます

2023. 7. 28

社会福祉法人 ボワ・すみれ福祉会
理事長 田部井 眞

地域と共に活動を行ないます

子どもたちの職場体験プログラム

夏休みの期間を利用して、放課後等デイサービスを利用している子どもたちの職場体験プログラムを実施します。

法人独自の取り組みで、花の家（生活介護）、クッカ広場（就労継続支援B型）同じくボワ・アルモニの3ヶ所で体験プログラムを実施します。職員体制の都合もあり、受け入れは少人数になります。そのほかでは、やはり放課後等デイサービスご利用の保護者を対象とした事業所見学会を実施します。低学年の保護者の卒業後進路の見学機会にもなっています。

お子さんや保護者の方が将来長い時間を過ごす卒業先の進路を理解していただくことは大変重要だと考えています。私たちの事業活動の一部を公開することで、卒業後の通所施設の理解を深めてほしいと思います。

事業所が不足しています

生活介護の事業所が不足しています。重い障害（医療的ケア）のご利用者を受け入れてくれる事業所が足りない。強度行動障害のご利用者や医療的ケアのあるご利用者を受け入れるグループホームが少ない、などの問題が私たちの地域で課題となっています。これらの問題解決には、障がい福祉関連団体が力を合わせ、行政の福祉計画に沿って新たな事業所の設置や定員を増やすなどの解決策を見つけ実行する以外に解決はできません。そこで、この秋に町田市障がい者福祉懇談会、町田作業所連絡会、町田市社会福祉法人施設等連絡会は「町田市障がい児者自立支援研究・研修会」を立ち上げてこれらの問題の解決を目指していきます。現在準備中です。

買い物支援2年目になります



忠生地区（かしのみ公園付近）の方を毎週水曜日にアメリカまで送迎し、買物をしていただく支援が2年目になりました。忠生第一高齢者支援センター、ぐうし館、花の家各1台計3台の車両と運転手を提供し買物支援サービスを行っています。多くの方にご利用いただいています。高齢者支援センターが中心となり、利用者が運行管理しています。

提供表示式・救急キット FA を導入しました

優しい心から生まれ、助け合う街づくりの為に、提供を第一の目的とした唯一の救急キットです。
この救急キットを法人の全車両42台に導入しました。



以下の物品が用意されています。

- ・作業トレイにもなる多機能ワンタッチフルフラット FA ケース（195×110×68mm）
（添え木の代わりにもなります。医療器具としては製作されていませんので緊急時にお使いください。
ケースのポケットにご自分の名刺やショップカードなどを入れておくと FA のオーナーが分かります。）
- ・伸縮包帯
- ・はさみ(先が丸い上質なハサミです。)
- ・ピンセット
- ・ガーゼは大小の2種類(小サイズと好みのサイズに切って使えるガーゼ・2種類)
- ・絆創膏(好みのサイズに切って使える絆創膏)
- ・サージカルテープ
- ・フェイスシールド(マウストウマウス用シート)
- ・携帯用トイレ 3個
- ・三角巾
- ・滅菌綿棒
- ・応急処置解説冊子
- ・表示器車外用 兼店舗等用シール(大1枚・中2枚・小2枚)
- ・インフォメーションカード(2枚 お財布に入れておくと安心です。)
- ・マスク(5枚)
- ・手袋(5セット)
- ・FA ケース固定用 面ファスナー



お知らせ

広報配信用 メールアドレスの登録について

ボワ・すみれ福祉会広報配信用メールアドレスの登録について

ペーパーレス化、郵送料の削減のためご協力いただける方に広報をメール配信にてお届けさせていただきます。下記のフォームからメールアドレスの登録をお願いいたします。

なお、広報が発行されるとメールに閲覧用のURL（ボワ・すみれ福祉会ホームページ）を送信いたします。クリックし、発行月の広報をご覧ください。過去の広報も掲載しています。

URL:<https://forms.gle/svtrzPZCTuApvgJg8>





「ICTの活用」

今年度からICT委員会が発足し、花の家でもICTを活用していこうとなりました。ICTとは「Information and Communication Technology（情報通信技術）」の略で、通信技術を活用したコミュニケーションのことになります。ICTは、ITに「Communication（通信）」という言葉が入っていることから、ITよりも通信によるコミュニケーションを強調しています。



しかし、私どもも初めての取り組みの為、今回は障がい児・者 QOL サポートラボ「CIAO」代表の田中顕一さん（以降、田中先生）を講師兼アドバイザーとしてお願いをしています。

まずは普段行っている活動で何かできないかというところから始まり、園芸の水やり、陶芸のタンポでの粘土叩きからとなりました。田中先生にはスイッチと電動で動く物を組み合わせた物を作って頂き活動に取り入れているところです。

今まで活動に参加していたけれど、支援者の手を借りていた方々をメインに、自分の意志で動かし活動に参加しているといった達成感、満足感を味わって頂こうといったことが目的です。

まだ試行錯誤中ですが完成すればご利用者様にとってとても有意義なものになると思います。今から完成が楽しみです。

他にも脳性麻痺の方でPCを手ではなく顎で動かすことができる装置の活用や、iPadを使って健康上の問題で来所できていない方とのWEB面会などを行っています。今後も様々な分野にICTを活用し皆様の花の家での生活がより良いものになるように頑張っていきたいと思います。（長澤 和弥）



「南大沢ガーデニングショー」

新型コロナウイルスが大流行した為、4年ぶりの開催となった第25回フラワーフェスティバル由木。春の南大沢ガーデニングショーが行われました！

南大沢駅から東京都立大学の間にある歩道には、4月末からゴールデンウィークにかけてハンギングバスケットとコンテナガーデンが飾られてとても綺麗な空間が演出されていました。花の家でも参加させて頂き見事、コンテナガーデンコンテスト

「最優秀賞」を頂きました。

コンテナに飾る苗の買い出しや植え付けから撤去まで職員とご利用者が一緒になって行いました。苗を買い物中、ご利用者は「この花がいいね」「白い花がいい」など選んで頂きました。植え付け中も苗を運んだり、土で周りが汚れたらほうきで掃除をするなど個々で仕事の分担を行い、最後はみんなで水やりをしました！ちなみに、市民賞（みんなからの投票）も頂き花の家では初めてのW受賞となりました。（下山 修平）

デザインテーマ
『春風にそよぐ仲間たち
（それぞれの個性のハーモニー）』



新人職員挨拶

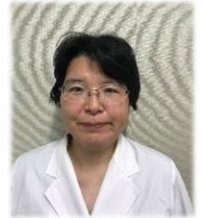
皆さまはじめまして

6月に入職をしました、笠原美絵（かさらはみえ）と申します。

趣味はお菓子づくりと料理です。

特に、洋菓子は食べるのも作るのも大好きで、最近、街中にある小さなお菓子屋さんに入って、おいしなお菓子をさがすのが楽しみになっています。

今は、職員の皆様に支えていただきながら仕事をおぼえている最中ではございますが、利用者様においしと思ってもらえる様な食事を調理の皆さんと力を合わせて作れるよう精進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



就労継続支援B型 クッカ広場



今年も6月初旬に「しょうぶ・あじさいまつり」に参加することができました。

町田薬師池公園での出張販売を行い、しょうぶや、あじさいなどの鉢花や花苗の販売を行い、中でもクッカ広場特製のドライフラワーはとぶように売れました！

ドライフラワーは、種まきから花の収穫、商品化まで全てクッカ広場で行っている自慢の商品です。

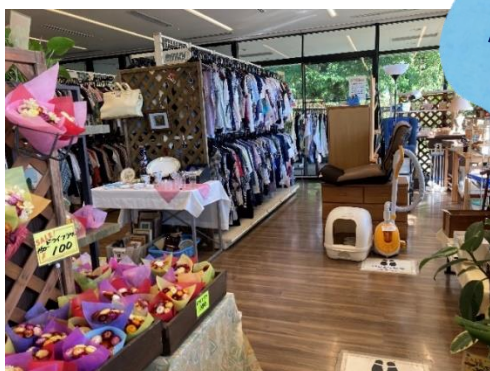
皆さまもクッカ広場にお立ち寄りの際は、ぜひ手に取ってみてください。

一方、リサイクルショップでは6月中旬にセールを行い、セール後には全商品の入れ替えも行いました！クッカ広場一同、皆様のご来店を心待ちにしております♪

もちろん、毎年恒例の小山田桜台の花壇植付けも行いました。

みんなで頑張って花苗を植え付けて、ステキな花壇に仕上がりました。お近くにお寄りの際にはぜひご覧になってください。見頃は8月初旬となりそうです。

（藤見 俊輔）



商品入れ替え





ジャガイモ & 玉ねぎ収穫

6月に入り雨の日も増えてきましたが、梅雨入り前の晴れの日
中庭の畑で育てた、玉ねぎとジャガイモの収穫作業を行いました。
今年も沢山の職員の方に協力していただき、立派なジャガイモと玉ねぎ
を収穫することができました❤️

車椅子のご利用者はジャガイモや玉ねぎにロープを付けて引っ張りました。
玉ねぎの根はとてもしっかりしていたので、なかなか抜けず大変でした💦
夏に向けてキュウリやナスの栽培を予定しています。

愛情込めて育てた野菜を収穫できることを楽しみにしています。

(増田 あい)



プール活動再開

今年度3年ぶりにプール活動が再開されました。
沢山のご利用者が再開を楽しみにされているなか、6月に
1回目のプールに行っていました。
参加されたご利用者は限られた時間の中ですが、とても楽し
むことが出来ました。

今後も安全を第一に、楽しいプール活動を提供していきたい
と思います。

(増田 あい)





「今年度のレクリエーション」

今年度も、クッキングやご利用者の健康を考えて、体を動かすレクリエーションを取り入れています。

また、コロナウイルス感染症の位置づけが５類相当になったことを受け、外出も検討しております。体を動かすレクでは、チューブを使ってストレッチや筋トレを行ないました。下半身の筋力が衰えてしまい躓いたり、転んだりしてしまうので、筋力を維持する為に定期的に行っていきます。

ダンスレク



今回新たに、ダンスレクを行ないました。

初めてだったので、みんなが知っていて簡単に踊れる歌、ちびまる子ちゃんの「おどるポンポコリン」を踊りました。

ご利用者も歌を知っている人が多く、積極的に参加して下さっていました。歌いながら踊る人や大きく動いている人など、皆笑顔で楽しそうに踊っていました。

次の歌のリクエストをしたところ、「パプリカ」になりました。機会があれば、一生懸命練習して、皆さんの前で発表出来たらうれしいです。



クッキングレク



クッキングレクでは、ミニピザを作りました。

ミニピザ生地にソースを塗って自分の好きな具材をのせて焼きました。

皆様、とてもおいしそうに召し上がられていました。



「就労継続支援 B 型（本体） 入所式について」

５月１９日（金）に５月１日から入所されたご利用者を祝う入所式を開催致しました。コロナ前のように多くの来賓をお呼びする形式は取らず、関係者だけでのお祝いでした。久々の入所者ということで、程良い緊張感もありましたが、まじめな質問から笑いを誘う質問まであり、和気あいあいとした歓迎ムード満載の心温まる式になりました。



児童支援部

ボワ・コンサール

春から初夏にかけての活動は、天気が良い時には公園へ出かけます。近くを流れる川の遊歩道を歩きながら、川の魚や野鳥を探したり、工事現場の車を見ついたりすることができ、よろこびをみんなで共有しながら楽しく歩くことができてました。公園では滑り台やブランコなどの遊具を使って思い切り体を動かして遊びます。

工作活動では、季節に合わせたテーマでこいのぼりや、てるてるぼうず、カエルなどを工作で作りました。雨で公園に行けない日は室内でエアトランポリンを出してみんなで元気に飛び跳ね元気に遊びます。

梅雨の時期はどうしても室内活動が増えますが、ミニ運動会を企画するなどみんなが室内で体を動かす活動も工夫して行っています。

(宇野 敬)



ボワ・フルール

ついこの間、新学期を迎えたと思っていたら、あつという間に7月になりました。

梅雨に入り、ジメジメした天気が続きましたが、晴れた日に公園に行つてブランコなどの遊具遊びやボールを使ってキャッチボール、広場をかけっこして体をたくさん動かして遊びました。雨の日にはフィットネスシーソーやエアポリンをセッティングして遊んだり、好きな玩具をじっくり楽しんで過ごしています。

年間で工作やクッキングの設定をしており、先日は、七夕をテーマに工作をしました。見本を見ながら作り、「もうすぐだね!」「楽しみな!」と話す児童や「できた!」と完成を喜ぶ児童の姿がみられました。

いよいよ子ども達の楽しみ、夏休みが始まります♪フルールでは、水遊びや買い物活動、夏まつりなど、楽しい活動を設定しています。

今年も暑い夏になりそうですが、子ども達と楽しい夏の思い出を沢山作っていきたいと思えます。

(渡邊 千春)



ボワ・エール

梅雨のジメジメした天気から一変して、暑い日が続いていますね。

エールでは月に1回ほどのペースで、クッキングの活動を行っています。6月には「ピザトースト」をつくりました。食パンに市販のピザソースを塗り、その上にタマネギ・ピーマン・ウィンナーをトッピング、さらにチーズをのせてホットプレートで焼きました。裏面がこんがりしたところで出来上がります。形態食を召し上がる方には、出来上がったものを再調理して提供しました。トッピングは児童がそれぞれで好きなものを選ぶようにしましたが、ピーマンやタマネギなど、少しクセのある食材も好評で、サクサクのピザトーストを皆さん、美味しそうに召し上がっていました。

暑さが厳しくなってくる時期ですが、水分補給や適切な休息を取り、熱中症に注意しながら楽しく過ごしていきたいと思います!!

(上田 哲明)





プチ贅沢な時間～大きなお風呂でリラックス

新型コロナが5類感染症となり、居住支援部でも「活気あふれる日常」を取り戻しつつあります。5月18日(木)、ミニヨン/クレールでは仕事後に「町田桜の湯」へ行ってきました。

当日は①徒歩で行く「地域散策組」、②公共バスで行く「バス旅気分組」、③送迎車で行く「優雅な直便組」、とそれぞれに分かれて出発。道中、各自好きなお弁当を購入しました。到着後は大きなお風呂でジェット湯や炭酸泉に浸かり、お弁当や売店のソフトクリームを満喫しました。

日常と違う空間をそれぞれに味わいながら、皆普段見られない表情や最高の笑顔を見せてくださり、「おばさんにも教えてあげよう!」、「最高だったよ〜!」など、ホームに帰った後も興奮冷めやらぬ様子でした。(大戸 純子)



ボワ・すみれ福祉社会後援会



ありがた委員会の1年間の話し合いを経て、
新年度の後援会が始動しました。

会員を募集しております

昨年、外部会員の協力も得て、ありがた委員会を立ち上げ、4回に渡り、これからの後援会のありがたについて、話し合いがもたれました。

また会員の皆様からアンケートで様々な意見をうかがいました。その集大成となる「ありがた委員会から後援会への提案」を受け、今年、後援会は、事務局を、事務局長1名、副事務局長2名を中心とする体制に改革して、各事業所から選出された役員の負担軽減を図るとともに、クッカ広場利用者家族からも役員が参加し、オールボワ・すみれ福祉社会体制で後援会活動を行っています。

法人の将来構想実現のために未来基金を創設してより強固に法人を支え、広く皆様の協力を得られる開かれた後援会、無理のない持続可能な組織作りを目指します。

ボワ・すみれ福祉社会に心を寄せてくださる多くの皆様とつながっていかれるよう、今後とも後援会をよろしく願いいたします。

*ありがた委員会から後援会への提案の詳細については法人ホームページ <https://bowasumire.jp/> をご覧ください。



会議を終えて～全員集合～
ありがた委員の皆様、お疲れさまでした。

編集後記

猛暑日が続き、毎日のように熱中症警戒アラートが発表されています。
無理な外出は控えながら、水分補給などの熱中症対策を行い、夏を乗り切りましょう!! (松浦 綾子)



発行 社会福祉法人ボワ・すみれ福祉社会 理事長 田部井 真

東京都町田市下小山田町 3267-2
TEL: 042-797-6004(代) / FAX: 042-797-4824
E-mail: hananoie@poem.ocn.ne.jp
<https://bowasumire.jp/>

